

2024

1

vol.186

千代川
news

清流くん

ウェーブちゃん

水質事故現地対策訓練を実施しました

河川等で油類流出等の水質事故が発生した場合、地域住民のみなさまの生活や魚類等の河川環境に対する被害及び影響が広範囲に及ぶ場合があります。

そのため、事故現場で迅速かつ的確な対策を行い、被害の拡散を防ぐことができるよう、毎年1回、関係機関（国、県、市町、消防署、警察署）が集まり水質事故現地対策訓練を実施しています。今年度は、令和5年10月25日（水）に摩尼川で実施しました。

水質事故を発見した場合、河川を管理する機関、又は、お近くの消防署、警察署に連絡をお願いします。



被害を最小限に抑えるために
河川に異常を見つけたら
すぐにお知らせください！



（国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 占用調整課）

「千代川フォトコンテスト2023」の受賞作品が決定！

千代川フォトコンテスト2023の金賞、銀賞、銅賞が決定しました！今回は、83点の作品の応募がありました。受賞作品を含め数多くの千代川が見せる四季折々の情景を映し出した作品の応募があり、千代川がみなさまの生活になくてはならない存在となっていることをあらためて実感しました。

「千代川フォトコンテスト2023」受賞作品



金賞

作品名 / 「水源を衛る」



銀賞

作品名 / 「伝統のひな祭り」



銅賞

作品名 / 「永年、お疲れさま」



千代川流域圏会議の道上会長より表彰



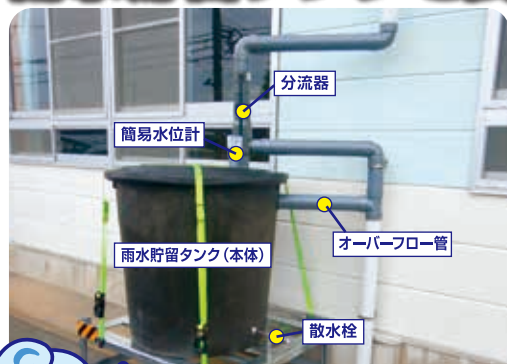
受賞作品他
詳しくは、
上記のQRコードで
確認できます



（国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 占用調整課）

雨水貯留タンクを試行設置しました

流域治水のイメージ



今回は、地域の方から提供していただいたタンクを再利用しました。

流域治水とは、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえて、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策のことです。

鳥取県では、地域の方々のご協力をいただきながら、「地域のみんなで取り組む流域治水」として、様々な取り組みを進めています。

その取り組みの一例として、公共施設や住宅への雨水貯留タンク設置がありますが、県では、その設置状況や役割等を実際に住民の方々に見ていただき、理解を深めていくため、公共施設への試行設置を進めています。

この度、美保南地区の方々にご協力をいただき、9月に「美保南地区公民館」において雨水貯留タンクを試行的に設置しました。公民館の屋根に降った雨水を一時的に貯留タンク(約600L)に溜めることで水路や河川に一度に流れ出る水の量を調節します。今後、防災学習への活用や他の公共施設への試行設置を検討していく予定です。

(鳥取県 県土整備部)



きただにがわ
北谷川

砂防堰堤の効果紹介

砂防堰堤とは、土砂をせきとめるために築いた堤防のことだよ



土石流発生前 (R4年3月)



土石流発生直後 (R5年8月17日)



8月15日に鳥取県に接近した台風第7号は、佐治雨量観測所(気象台)で観測史上1位となる24時間降水量515mmを観測するなど記録的な豪雨をもたらし、鳥取市南部地区や八頭町を中心に多大な被害が発生しました。

このような状況の中、鳥取県が整備し、令和4年5月に完成した鳥取市佐治町尾際地内の北谷川砂防堰堤は、豪雨により発生した土石流を約10,000m³捕捉し、下流の国道や工場への被害を未然に防止する等、その施設の効果を発揮しました。鳥取県では、今後の大雨による土石流発生に備えるため、9月末から捕捉した土砂の撤去作業を開始し、10月末に完了しました。

今後も引き続き、土砂災害を防止する砂防堰堤の整備や、整備している砂防堰堤の適切な維持管理を行っていきます。

(鳥取県 県土整備部)



かっぱ通信

事務局
だより

千代川流域圏会議は、平成10年の発足から25年が経過しました。

これからも、河川に関する情報を発信していきますので、よろしくお願いします。

お知らせ

次号の千代川ニュースは、
2月号(1月下旬発行)の予定です

(発行・編集) 〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地 千代川流域圏会議事務局
国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 河川管理課 TEL0857-22-8435 FAX0857-29-1859

今までの千代川newsは、ホームページでご覧いただけます。<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference/>